

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月30日

上場会社名 ユニダックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9897 URL http://www.unidux.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 立花 篤実  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 隆則 (TEL) 0422(33)6411  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	10,925	57.6	218	-	291	-	6	-
22年3月期第1四半期	6,931	△43.2	△69	-	△53	-	△36	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期		38	-	
22年3月期第1四半期	△2	12	-	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年3月期第1四半期	24,266		15,089		62.2	877	63
22年3月期	24,061		15,215		63.2	884	78

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 15,089百万円 22年3月期 15,215百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭		
22年3月期	-		7	50	7	50	15	00
23年3月期	-							
23年3月期(予想)			0	00	0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	20,680	27.0	324	1,605.3	305	475.5	91	333.3	5	29
通期	39,900	2.6	606	82.7	573	56.3	316	62.3	18	38

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、添付資料P. 4「2. その他の情報」をご参照下さい。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	17,932,595株	22年3月期	17,932,595株
23年3月期1Q	739,047株	22年3月期	735,298株
23年3月期1Q	17,195,891株	22年3月期1Q	17,213,127株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。)

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
仕入、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的な景気回復傾向のなか、輸出需要に内需も牽引されてきており、緩やかに回復しております。

エレクトロニクス業界では、エコポイントの延長とサッカーワールドカップ効果などにより、薄型テレビやブルーレイ機器の販売が好調でした。昨年秋口の発売以来好調を続けてきたWindows 7搭載パソコンは、春先の新学期需要が過ぎたこともあり、一時期にみられた品薄状態からは脱却しましたが、各種半導体・電子部品の供給は、当期間においては、全般的に逼迫が継続しておりました。

このような状況下、当社でも好調な売上を計上することが出来ました。主力である携帯電話向けイメージセンサーは、新興国向け製品に搭載される低画素数、低価格の製品に取引が集中し、またパソコン向けメモリーに関しては、Windows 7搭載パソコンの市場反響が良く、大口顧客を中心に販売が好調でした。収益源である電子部品や、産業機器向け製品についても安定的に注文が入り始めたことから、経常利益ベースでは前年同期と比べて大幅に回復することができました。

しかし、当社は、アヴネット・イーエム・ホールディングス・ジャパン合同会社による当社普通株式に対する公開買付けに賛同し、公開買付者により完全子会社化される予定であり、そのための一時的な諸費用が発生いたしました。

その結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高109億25百万円（前年同期比57.6%増）、営業利益2億18百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）、経常利益2億91百万円（前年同四半期は経常損失53百万円）、四半期純利益6百万円（前年同四半期は四半期純損失36百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①半導体

半導体部門では、主力である携帯電話向けイメージセンサーは、新興国向け製品に搭載される低画素数、低価格の製品に取引が集中いたしました。またパソコン向けメモリーに関しては、Windows 7搭載パソコンの市場反響が良く、大口顧客を中心に販売が好調に推移しました。産業機器を中心とした組込み製品マーケットについても、需要が回復してきたことから組み込み用CPUなどの売上も回復してきました。

その結果、売上高66億93百万円となりました。

#### ②電子部品

電子部品部門では、エコポイントの影響により、テレビ・ブルーレイ機器向けや、カーナビ向けなどの回路保護部品の販売が好調でした。また、産業機器向けノイズフィルターなども、需要が回復してきました。パソコン需要の影響で、パソコンに採用されている部品については、供給が逼迫しており、納入が遅れるケースが散見されました。

その結果、売上高21億21百万円となりました。

#### ③情報機器

情報機器部門では、主力であるバーコード製品が、大手物流業者向け携帯端末向けに出荷されたことや、流通・医療関係案件に採用されるなどしたため、プラス成長を確保いたしました。

その結果、売上高16億28百万円となりました。

#### ④ソフトウェア

ソフトウェア部門では、ゲームセンターに設置されるアーケードゲーム機のタイトル入れ替えや、コンビニエンスストアチェーンのPOSレジ入れ替えなどに伴う大口需要が発生したため、売上は好調でした。

その結果、売上高4億81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して10億92百万円減少し、14億36百万円となりました。その主な要因は、売上債権(売掛金・受取手形)の減少、棚卸資産の増加、仕入債務の増加、短期借入金返済などによるものであります。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において、営業活動の結果使用した資金は、4億74百万円(前年同四半期は15億25百万円獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が19百万円となったこと、売上債権の減少が4億12百万円あったこと、たな卸資産の増加が15億65百万円あったこと、仕入債務の増加が6億90百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において、投資活動の結果使用した資金は、1百万円(前年同四半期は76万円使用)となりました。

これは主に、敷金等の回収による収入が4百万円ありましたが、固定資産の取得による支出が5百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において、財務活動の結果使用した資金は、6億17百万円(前年同四半期は6億52百万円使用)となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額が5億円となったこと、配当金の支払額が1億9百万円あったこと、自己株式の取得による支出が2百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の売上高及び営業利益は当初計画を上回る水準で推移しましたが、アヴェネット・イーエム・ホールディングス・ジャパン合同会社による当社普通株式に対する公開買付けに係る一時的な諸費用が発生した結果、第2四半期の当期純利益が、わずかながら計画に届かない見通しであるため、第2四半期累計期間の予想値を修正致しました。

下期につきましては概ね当初計画通りですが、売上が順調に推移していることから、上期のマイナス分を補って、通期は前回公表数字と大きな差異は生じないと予想しております。

なお、平成22年5月14日の決算短信で発表しました第2四半期累計期間の業績予想との差異は以下のとおりです。

(第2四半期(累計))

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,910	252	237	121	7 7
今回修正予想(B)	20,680	324	305	91	5 29
増減額(B-A)	770	72	68	△30	—
増減率(%)	3.9	28.6	28.7	△24.8	—
前中間期実績	16,285	19	53	21	1 26

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### 2. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

##### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は447千円、税引前四半期純利益は25,198千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は43,955千円であります。

#### 2. 表示方法等の変更

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,436,044	2,528,887
受取手形及び売掛金	16,802,826	17,215,456
商品及び製品	4,293,752	2,728,400
その他	410,444	259,385
貸倒引当金	△1,680	△1,722
流動資産合計	22,941,387	22,730,407
固定資産		
有形固定資産	65,917	52,154
無形固定資産	26,367	27,241
投資その他の資産		
投資有価証券	741,570	754,617
その他	517,196	523,317
貸倒引当金	△26,238	△25,788
投資その他の資産合計	1,232,528	1,252,145
固定資産合計	1,324,813	1,331,541
資産合計	24,266,200	24,061,948
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,994,565	3,308,999
短期借入金	4,000,000	4,500,000
未払法人税等	57,206	52,806
賞与引当金	85,500	171,000
その他	430,791	243,197
流動負債合計	8,568,063	8,276,002
固定負債		
退職給付引当金	548,734	553,154
資産除去債務	43,955	—
その他	15,934	17,023
固定負債合計	608,624	570,177
負債合計	9,176,687	8,846,180

## ユニダックス(株)(9897)平成23年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,800,338	4,800,338
資本剰余金	5,360,745	5,360,745
利益剰余金	5,288,468	5,410,873
自己株式	△352,830	△350,256
株主資本合計	15,096,721	15,221,701
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,208	△5,933
評価・換算差額等合計	△7,208	△5,933
純資産合計	15,089,513	15,215,767
負債純資産合計	24,266,200	24,061,948









